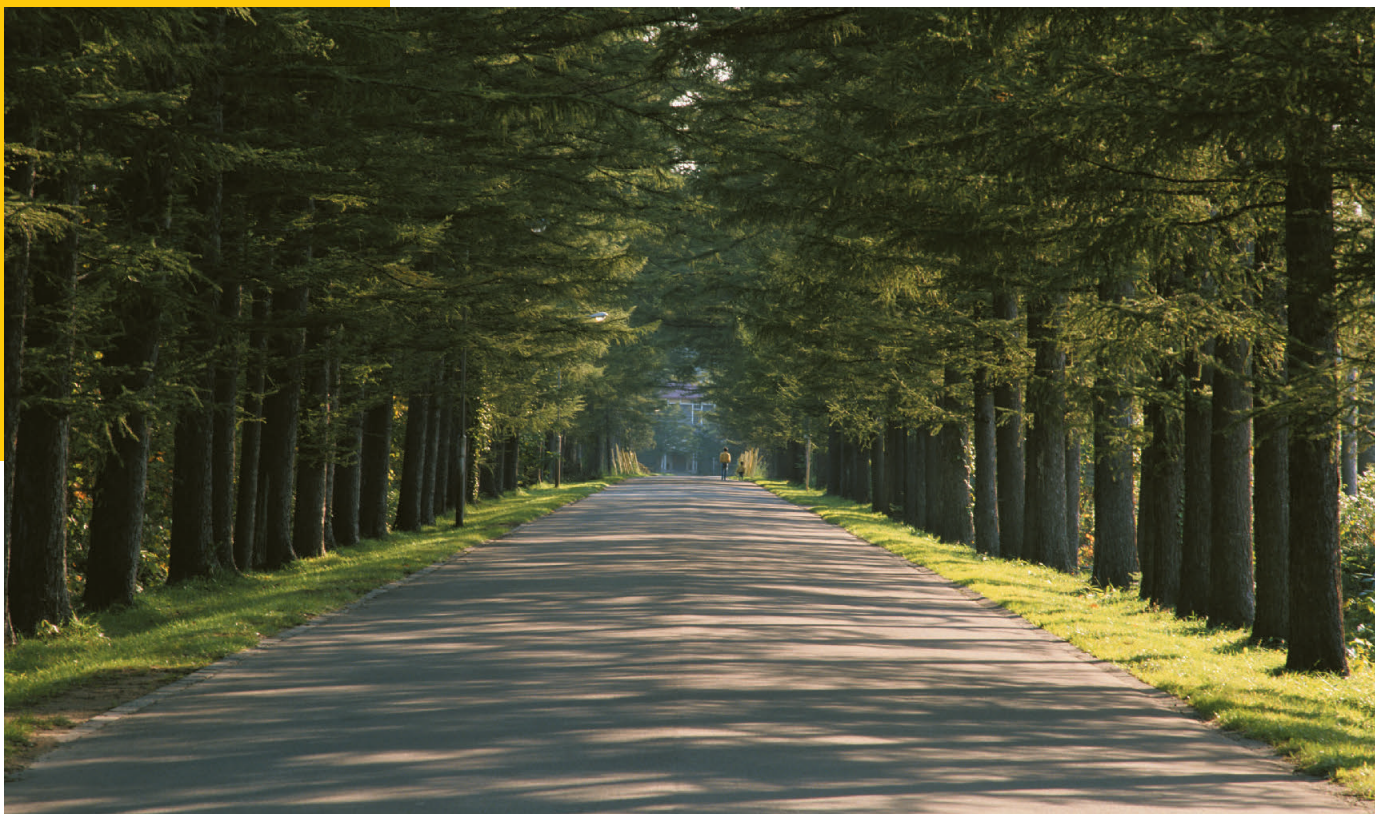


● 雑草の自生等を防止するアスファルト舗装 防草舗装工法

WEED REPELLING PAVEMENT



防草舗装とは、雑草などが自生し繁茂することを防ぐ、忌避剤を使用した材料で構成されたアスファルト舗装です。使用する忌避剤は、除草剤のように雑草や木を枯死させるものではなく、忌避させる性質があるもので、地球環境にやさしい防草舗装材料を使用しています。

また道路舗装の寿命が延びるとともに、除草工費や維持管理費の軽減などの経済的な効果を得られます。

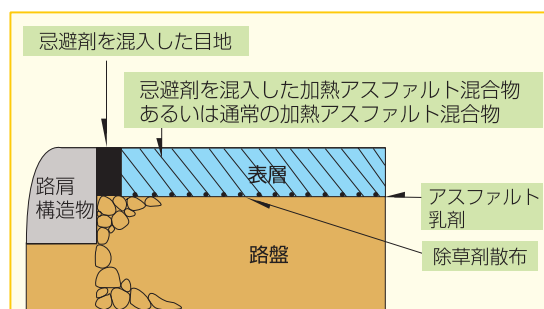
特長

- **雑草などの繁茂を防ぎます。**
雑草の繁茂による見通しの悪さを解消するとともに、美しい景観を保つことのできる環境にやさしい舗装技術です。
- **道路の寿命を延長します。**
スギナやヨモギなどによるアスファルト舗装の貫通および木の根によるアスファルト舗装の盛り上がりを防止します。
このため維持管理費が軽減でき、道路の寿命を延長することができます。
- **周辺環境に優しい商品です。**
使用する忌避剤は不溶性のため、雨水等による溶出がなく、周囲の農作物に影響を与えることはありません。

用途

農道、歩道、車道の路肩、調整池、他

舗装構成



【舗装構成例】

	例 1	例 2	例 3
目 地	忌避剤を混入した目地	—	忌避剤を混入した目地
表層混合物	忌避剤を混入した加熱アスファルト混合物	忌避剤を混入した加熱アスファルト混合物	通常の加熱アスファルト混合物
路 盤 上	除草剤散布	除草剤散布	除草剤散布
対象とする雑草	ススキ、ヨシなどの雑草	スギナなどの雑草	

従来工法との比較

●従来工法



構造物との間に繁茂した雑草



木の根による盛り上がりやアスファルト舗装を貫通した雑草

●防草舗装工法



施工後5年



施工後6ヶ月



忌避剤入り
成形目地

忌避効果確認実験例

忌避剤を混入したアスファルト混合物と、混入していないアスファルト混合物を土中に埋め、その上にススキ、スギナ、ヨモギなどを植えて忌避効果を確認しました。

右写真のように、設置後6ヶ月経過した忌避剤を混入していないアスファルト混合物は、雑草をはがしたところ、根が侵入し、はびこっていましたが、忌避剤を混入したアスファルト混合物には根の侵入は見られず、忌避剤の忌避効果を確認することができました。

アスファルト混合物に侵入した



忌避剤を混入した
アスファルト混合物

通常の
アスファルト混合物